



◆NEWS◆ 「除染に関する最新情報を伝え、県民のニーズに応えたい」  
除染情報プラザが展示内容を一新、リニューアルオープン!!  
(7月7日)

「除染情報プラザ」は、福島県と環境省が、除染に関する専門家を市町村等の要請に応じて派遣するとともに、除染ボランティア活動等の関連情報の収集・発信を行う拠点として、平成24年1月、原子力学会や日本原子力研究機構と連携して設置しました。

これまで「除染情報プラザ」が果たした役割のうち、専門家の派遣では、放射線全般に関する講習会や、除染を行う事業者への作業方法の説明等地域のニーズに応じて最適な専門家を選び派遣しており、6月末までの専門家の派遣は76件、講習会の参加人数は4,275人となりました。

また、閲覧スペースについては、2月末にオープンし、これまでも県民の方々へ情報を発信してまいりました。

今後、除染作業が各地で本格化されていくことを踏まえ、より多くの県民の皆様にご利用いただけますように、放射線測定器の正しい測定方法を体験できるコーナー、福島県内各地で行われている除染活動のトピックスのご紹介、大型テレビモニターによる最新のモニタリング結果・除染の進捗状況等の展示、放射線や除染に関するQ&A、除染作業の具体例などを充実します。

また、閲覧スペースの充実と共に、出張展示なども積極的に実施し、これまでよりもスピード感を持って、除染に関わる進捗状況などを皆さまにお届けしてまいります。

#### ■リニューアルポイント

##### ○展示コーナー

除染に関する最新情報、関連トピックス、汚染状況、各市町村での除染作業を行った地域の情報および進捗状況などをタイムリーに紹介します。

##### ○放射線コーナー

放射線に関する疑問や対応に、タッチパネルモニター画面にふれるQ&A形式で回答します。

展示された放射線測定器を使つての放射線の測定体験ができます。

##### ○除染コーナー

家や仮置き場の模型を使った、除染作業の内容や除染効果、安全確保のための対策などを紹介します。

##### ○コミュニケーションコーナー

国の直轄地除染の取組やボランティア除染の情報を発信すると共に、除染に関する最新技術資料や各自治体の除染資料などを提供します。

##### ○コンサルティングコーナー

プラザ内に常駐しているアドバイザーが除染に関する来場者の質問や相談をお受けします。

#### ■除染情報プラザについて

開館時間：10:00～17:00

※休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）

問い合わせ：024-529-5668

住 所：福島県福島市栄町1-31 NFC 第2ビル 1階

詳しくは「除染情報プラザ」ホームページをご覧ください。

<http://josen-plaza.env.go.jp/>

-----  
◆ NEWS ◆ 避難指示解除準備区域への帰還・復興を支援するための放射線モニタリング測定結果の一部を公表（7月6日）  
-----

文部科学省、内閣府原子力被災者生活支援チーム、復興庁、環境省及び福島県は、今回、避難指示解除準備区域（南相馬市、田村市、川内村）への帰還に向けて、地元の要望を踏まえ、安全・安心の確保に向けた詳細なモニタリングを実施しており、今般、今年6月18日及び19日に南相馬市で実施したモニタリング結果を公表しました。

■測定概要

南相馬市の小中学校、高等学校、幼稚園、保育所や、病院、図書館、児童館・児童センター・障害児施設・放課後児童クラブの敷地内の主要なポイントにおける空間線量率（1m及び50cm高さ）を測定。

■測定対象（14施設）

- ・保育所：市立おだか保育園
- ・幼稚園：市立小高幼稚園、市立福浦幼稚園、市立金房幼稚園、市立鳩原幼稚園
- ・小学校：市立小高小学校、市立福浦小学校、市立金房小学校、市立鳩原小学校
- ・中学校：市立小高中学校
- ・高等学校：県立小高工業高等学校、県立小高商業高等学校
- ・病院：市立小高病院、医療法人創研究会 小高赤坂病院

■モニタリングの結果

- ・小中学校、高等学校、幼稚園、保育所の敷地内の空間線量率は、校庭・園庭等について12施設のうち2施設が、毎時1.0マイクロシーベルト以上となっており、最大値は、毎時1.47マイクロシーベルト（市立鳩原小学校の校庭、50cm高さ）でした。また、玄関及び昇降口等の屋外におけるコンクリート敷地及び教室等内については全て毎時1.0マイクロシーベルト未満でした。
- ・病院の敷地内の空間線量率は、屋外2施設のうち医療法人創研究会 小高赤坂病院の1箇所（雨天時に敷地内の雨水を一時貯留する調整池として利用される場所）が、2.10マイクロシーベルト（50cm高さ）でしたが、それ以外の屋外の空間線量率については、2施設共に全て毎時1.0マイクロシーベルト未満となっており、屋内については全て毎時1.0マイクロシーベルト未満でした。

各施設ごとの詳細な測定結果等については文部科学省のホームページをご覧ください。

[http://radioactivity.mext.go.jp/ja/contents/6000/5677/24/348\\_0706.pdf](http://radioactivity.mext.go.jp/ja/contents/6000/5677/24/348_0706.pdf)

-----  
◆訂正のお知らせ◆ 平成24年6月15日公表「旧緊急時避難準備区域(南相馬市、田村市、川内村、広野町、楡葉町)の復旧を支援するための放射線モニタリングアクションプランの測定結果について」の訂正について（7月12日）  
-----

平成24年6月15日環境省発表「旧緊急時避難準備区域(南相馬市、田村市、川内村、広野町、楡葉町)の復旧を支援するための放射線モニタリングアクションプランの測定結果について」資料中の検出された放射性物質の濃度について誤りがありましたので、お知らせします。

■検出された放射性物質の濃度の訂正

- 誤：セシウム134：11.1ベクレル／リットル
- 正：セシウム134：5.5ベクレル／リットル

誤：セシウム137： 5.5ベクレル／リットル  
正：セシウム137：11.1ベクレル／リットル

詳しくは環境省のホームページをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15359>

\*\*\*\*\*

ふれあいニュースレター<電子版>でも、6月21日にNEWSとして、「旧緊急時避難準備区域および避難指示解除準備区域における井戸水等のモニタリング結果を公表(06/15)」を配信しておりましたが、上記訂正内容を踏まえ下記のように修正しましたので、お知らせします。

<6月21日配信内容(抜粋)>

■調査結果

- 1) 旧緊急時避難準備区域(田村市分：681箇所)  
放射性ヨウ素：全地点で不検出  
放射性セシウム：1箇所を検出。残り680箇所は不検出。  
(セシウム134：11.1ベクレル／リットル、セシウム137：5.5ベクレル／リットル)

<修正した内容>

■調査結果

- 1) 旧緊急時避難準備区域(田村市分：681箇所)  
放射性ヨウ素：全地点で不検出  
放射性セシウム：1箇所を検出。残り680箇所は不検出。  
(セシウム134：5.5ベクレル／リットル、セシウム137：11.1ベクレル／リットル)

詳しくは「ふれあいニュースレター<電子版>0621(PDF形式)[修正版]」をご覧ください。

[http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/letter\\_fureai16\\_0621.pdf](http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/letter_fureai16_0621.pdf)

=====  
☆☆「ふれあいニュースレター」バックナンバーのご案内☆☆

[http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html#info\\_fureai\\_letter](http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html#info_fureai_letter)

=====  
[発行：政府原子力被災者生活支援チーム]